

日本分析化学会第72年会

日本分析化学会第72年会を以下のように開催します。本年会の講演申込及び講演要旨の入力は、Webからオンラインで申込者に行っていただきます。また、講演要旨集はWeb上で電子配布といたします。講演要旨は1講演あたりA4判1頁です。講演募集の詳細は本誌5月号の「お知らせ」及び第72年会ホームページでお知らせします。講演および参加の申込については、以下のスケジュールで予定しています。

記

年会期日 2023年9月13日(水)～15日(金)
 年会会場 熊本城ホール〔熊本市中央区桜町3-40〕
 懇親会 2023年9月14日(木)
 懇親会会場 ラソールガーデン・熊本〔熊本市中央区桜町3-50 SAKURAMACHI HILLS 2F〕
 講演申込・参加登録開始 4月26日(水)
 講演申込締切 6月7日(水)
 要旨本文締切 7月5日(水)
 事前参加登録締切 8月30日(水)
 参加登録費 予約：会員12,000円、学生会員4,000円、
 会員外21,000円、会員外学生7,000円
 [当日：会員15,000円、学生会員6,000円、会員外24,000円、
 会員外学生8,000円]
 懇親会参加費 予約：一般10,000円、学生4,000円
 [当日：一般12,000円、学生5,000円]
 シンポジウム
 1. 分析化学反応場における酸と塩基
 ～酸・塩基の定義から100年～
 2. バイオ界面の分析化学
 3. 医薬領域の進歩に貢献する分析化学
 4. ポストコロナに向けた分析化学
 詳細は、第72年会ホームページをご覧ください。
<https://conference.jsac.jp/72nenkai/>

2023年度液体クロマトグラフィー(LC)
分析士三段認証試験実施のお知らせ

標記につき、下記要領で実施する予定ですので、お知らせいたします。

日時 2023年5月10日(水)14時～16時
 会場 五反田文化会館〔東京都品川区西五反田1-32-2、交通：JR・都営地下鉄「五反田」駅より徒歩3分。〕
 三段資格のイメージ 各種分析士に共通するものとして、「新しい分析法を開発し、その妥当性確認(Method validation)を計画し、実施できるレベル。当該分析・測定技術に関連する学術的知識に詳しく、経験が深い。」と規程されます。液体クロマトグラフィー分析士においては「HPLCを用いた試験に関連する前処理に関する知識が十分である。与えられた公定法や論文を正確に読みこなし、自らその試験を行うかSOPを作成することができる。」ことが求められます。なお、試験問題としては科学並びに分析化学一般に関する知識を問う内容が約30%含まれます。
 受験料 7,700円(合格者は登録料4,400円を別途申し受けます)。入金確認後、受験番号をお知らせします。
 受験資格 受験できる方はこれまでに行われた液体クロマトグラフィー分析士二段試験に合格し、登録された方に限ります。
 申込方法 受験料の銀行振込後、専用ホームページ(<https://forms.gle/X2nKSAuuCuwpDpnS6>)にアクセスして必要事項を入力してください。

forms.gle/X2nKSAuuCuwpDpnS6)にアクセスして必要事項を入力してください。

申込締切 5月1日(月)

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金0802349 名義：公益社団法人日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会((シャ)ニホンブンセキカガクカイエキタイクロマトグラフィー)。一度お振込いただいた受験料は返却しません。万一、コロナ禍等で試験が中止された場合には、次回の受験料を免除します。

問合先 (公社)日本分析化学会・LC研究懇談会・分析士認証専門部会[nakamura@jsac.or.jp]

2023年度LC/MS分析士三段
認証試験実施のお知らせ

標記につき、下記要領で実施する予定ですので、お知らせいたします。

日時 2023年5月16日(火)14時～16時
 会場 五反田文化会館〔東京都品川区西五反田1-32-2、交通：JR・都営地下鉄「五反田」駅より徒歩3分。〕
 三段資格のイメージ 各種分析士に共通するものとして、「新しい分析法を開発し、その妥当性確認(Method validation)を計画し、実施できるレベル。当該分析・測定技術に関連する学術的知識に詳しく、経験が深い。」と規程されます。LC/MS分析士においては「LC/MSを用いた試験に関連する前処理に関する知識が十分である。与えられた公定法や論文を正確に読みこなし、自らその試験を行うかSOPを作成することができる。」ことが求められます。なお、試験問題としては科学並びに分析化学一般に関する知識を問う内容が約30%含まれます。

受験料 7,700円(合格者は登録料4,400円を別途申し受けます)。入金確認後、受験番号をお知らせします。

受験資格 受験できる方はこれまでに行われたLC/MS分析士二段試験に合格し、登録された方に限ります。

申込方法 受験料の銀行振込後、専用ホームページ(<https://forms.gle/vvajn13Zxi8gtV6>)にアクセスして必要事項を入力してください。

申込締切 5月8日(月)

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金0802349 名義：公益社団法人日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会((シャ)ニホンブンセキカガクカイエキタイクロマトグラフィー)。一度お振込いただいた受験料は返却しません。万一、コロナ禍等で試験が中止された場合には、次回の受験料を免除します。

問合先 (公社)日本分析化学会・LC研究懇談会・分析士認証専門部会[nakamura@jsac.or.jp]

第382回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会

近年、さまざまな分析機器の高度化に伴い、環境・食品・生体試料中の微量な有機化合物の高感度測定が可能になりつつある。しかし、実際の試料を測定する上では、試料から分析種を抽出・濃縮・精製することを目的として、試料前処理操作が必要になる場合が多い。本例会では、「クロマトグラフィー用試料前処理技術」にフォーカスを当て、試料前処理の基礎から、実試料測定への応用について、ご講義いただきます。

期日 2023年4月27日(木)13.00～17.15

会場 Zoom オンライン会場

講演主題 クロマトグラフィー用試料前処理技術の基礎と応用
講演

講演主題概説 (オーガナイザー)
(13.00~13.05)

(産業技術総合研究所) 川口 研
(LC/MS 分析士初段)

1. 「固相抽出メソッド最適化における基礎および最新技術」
(13.05~13.35)

(日本ウォーターズ㈱) 島崎裕紀
(LC 分析士三段, LC/MS 分析士二段)

2. 「脂質をクリーンアップする固相抽出カラム Bond Elut Lipid Extraction」
(13.35~14.05)

(アジレント・テクノロジー㈱) 山下和之
(LC 分析士初段)

3. 「LC/MS/MS 分析における誘導体化反応を含む前処理法」
(14.05~14.35)

(㈱島津製作所) 國澤研大
(LC/MS 分析士初段取得予定)

4. 「微量試料を分析するための効果的な前処理手法の紹介」
(14.35~15.05)

(ジエールサイエンス㈱) 太田茂徳
(LC 分析士初段取得予定)

休憩 (15.05~15.15)

5. 「食品分析における前処理事例の紹介」
(15.15~15.45)

((一財)日本食品検査) 橘田 規
(LC 分析士二段, LC/MS 分析士四段)

6. 「LC/MS による生体試料分析のための前処理」
(15.45~16.15)

(第一三共㈱) 合田竜弥
(LC 分析士二段, LC/MS 分析士初段)

7. 「バイアル抽出法の開発及び生体試料分析への応用」
(16.15~16.45)

(産業技術総合研究所) 川口 研
(LC/MS 分析士初段)

8. 総括「HPLC 及び LC/MS 用試料前処理」
(16.45~17.15)

(東京理科大学) 中村 洋
(LC 分析士五段, LC/MS 分析士五段)

参加費 LC 研究懇談会会員: 1,000 円, 後援学会 (日本分析化学会, 日本薬学会, 日本化学会, 日本農芸化学会)

会員: 3,000 円, その他: 4,000 円, 学生: 1,000 円。

参加申込締切後の受付はできませんので, ご了承ください。

情報交換会 講演終了後, 講師を交えて情報交換会を開催します (会費 1,000 円)。締切後のご参加はできませんので, 参加希望者は必ず事前にお申込みください。

申込締切日 4 月 20 日 (木)

申込方法

- 参加希望者は, 下記申込先にアクセスし, 氏名, 勤務先 (電話番号), LC 会員・後援学会会員・その他の別及び情報交換会参加の有無を明記のうえ, お申込みください。なお, 参加者名と振込者名が違う場合は, 参加申込書の連絡事項欄に振込者名を明記してください。
- お申込みが完了した場合には, 登録されたアドレス宛に「第 382 回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付 (自動返信)」のメールが届きます。メールが届かない場合は, 世話人までお問い合わせください。
- 申込み受付のメールを受領後, 必ず期限内に参加費の納入を行ってください。期限内に参加費納入が確認できない場合, 参加申込みを無効とし参加 URL を発行しませんので, 十分ご注意ください。なお, 一旦納入された参

加費は, 返金いたしません。

- 参加費の納入が確認できた方には, 2023 年 4 月 21 日以降に①例会サイト入場 URL と②「視聴者用操作マニュアル」をお送りします。また, 情報交換会参加費納入者には, ③情報交換会サイト入場 URL をお知らせいたします。なお, 請求書と領収書の発行はいたしていません。領収書は, 振込時に金融機関が発行する振込票等をもって替えさせていただきます。

液体クロマトグラフィー研究懇談会 (例会) 参加費送金時のご注意

例会参加費, 情報交換会参加費を送金される場合, 下記を禁止しておりますので, ご理解のほどよろしくお願いいたします。

- 複数例会の参加費の同時振込 (→例会ごとに振り込んでください)
- 複数参加者の参加費の同時振込 (→参加者ごとに振り込んでください)
- 年会費や他の費用との合算振込 (→費目ごとに振り込んでください)

申込先 <https://forms.gle/EZeLo6pQPzEA7idC8>

銀行送金先 りそな銀行五反田支店 (普通) 1754341

口座名義: シャ) ニホンブンセキカクカウ

公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会

問合先 (公社)日本分析化学会 LC 研究懇談会 世話人

[E-mail: m-kawaguchi@aist.go.jp]

第 383 回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー (LC) 研究懇談会

後援 (公社)日本薬学会, (公社)日本化学会, (公社)日本農芸化学会, (公社)日本分析化学会

HPLC, LC/MS は, 環境・食品, 医薬品などさまざまな分野の分析で汎用的に使用されますが, 正確な結果を得るためには基礎的な知識は必須です。本例会では, HPLC, LC/MS に用いる前処理, カラム, 装置, 試薬まで幅広い内容でご講演いただきます。ぜひこの機会にご参加いただき, 皆様のご活躍の一助となれば幸いです。

期日 2023 年 5 月 25 日 (木) 13.00~17.00

会場 Zoom オンライン会場

講演主題 HPLC, LC/MS の基礎知識

講演

講演主題概説 (オーガナイザー)
(13.00~13.05)

(関東化学㈱) 坂本和則

1. HPLC, LC/MS に用いる試薬・溶媒の基礎知識
(13.05~13.35)

(関東化学㈱) 坂本和則 (LC 分析士初段)

2. LC, LC/MS 分析のためのサンプル前処理法の基礎
(13.35~14.10)

(日本ウォーターズ㈱) 島崎裕紀
(LC 分析士三段, LC/MS 分析士二段)

3. 逆相 HPLC カラムの基礎知識
(14.10~14.45)

((一財)化学物質評価研究機構) 坂牧 寛
(LC 分析士二段, LC/MS 分析士初段)

休憩 (14.45~15.05)

4. HPLC 分析の条件設定の基礎知識
(15.05~15.40)

(㈱日立ハイテックスサイエンス) 清水克敏

- (LC分析士二段, LC/MS分析士初段)
5. LC/MS, LC/MS/MSにより得られるマススペクトル解析の基礎知識
(15.40~16.25)

(エムエス・ソリューションズ株) 高橋 豊
(LC分析士二段, LC/MS分析士五段)

6. 総括「HPLC, LC/MSの基礎知識」
(16.25~17.00)

(東京理科大学) 中村 洋

(LC分析士五段, LC/MS分析士五段)

参加費 LC研究懇談会・個人会員：1,000円, 後援学会・会員：3,000円, その他：4,000円, 学生：1,000円. 参加申込締切日後の受付はできませんので, ご了承ください.

情報交換会 終了後, 講師を囲んで情報交換会を開催します(会費1,000円). 参加申込締切後のご参加はできませんので, ご了承ください.

申込締切日 2023年5月18日(木)(入金締切時刻:15時まで)

申込方法

- 参加希望者は, 下記申込先にアクセスし, 氏名, 勤務先(電話番号), LC会員・協賛学会会員・その他の別および情報交換会参加の有無を明記のうえ, お申込みください. なお, 参加者名と振込者名が違う場合は, 参加申込書の連絡事項欄に振込者名を明記してください.
- お申込みが完了した場合には, 登録されたアドレス宛に「第383回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付(自動返信)」のメールが届きます. メールが届かない場合は, 世話人までお問い合わせください.
- 申込み受付のメールを受領後, 必ず期限内に参加費の納入を行ってください. 期限内に参加費納入が確認できない場合, 参加申込みを無効とし参加URLを発行しませんので, 十分ご注意ください. なお, 一旦納入された参加費は, 返金いたしません.
- 参加費の納入が確認できた方には, 2023年5月19日以降に①例会サイト入場URLと②「視聴者用操作マニュアル」をお送りします. また, 情報交換会参加費納入者には, ③情報交換会サイト入場URLをお知らせいたします. なお, 請求書と領収書の発行はいたしておりません. 領収書は, 振込時に金融機関が発行する振込票等をもって替えさせていただきます.

液体クロマトグラフィー研究懇談会(例会)参加費送金時のご注意

例会参加費, 情報交換会参加費を送金される場合, 下記を禁止しておりますので, ご理解のほどよろしくお願いいたします.

- 複数例会の参加費の同時振込
(→例会ごとに振り込んでください)
- 複数参加者の参加費の同時振込
(→参加者ごとに振り込んでください)
- 年会費や他の費用との合算振込
(→費目ごとに振り込んでください)

申込先 <https://forms.gle/hkT7fTJ2Pd5Pt17b8>

銀行送金先 りそな銀行五反田支店(普通)1754341口座名義:シャ)ニホンブンセキカガクカイ(公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会)

問合先 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会 世話人 関東化学株 坂本和則
[E-mail: sakamoto-kazunori@kanto.co.jp]

——以下の各件は本会が共催・協賛・後援等をする行事です——

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください.

23-1 NMR 研究会

主題「新たな機能の創成を目指した分子設計と特性解析」

主催 (公社)高分子学会 NMR 研究会

期日 2023年5月12日(金)

会場 東京海洋大学 楽水会館大会議室

ホームページ <https://member.spsj.or.jp/event/>

連絡先 〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル

(公社)高分子学会 NMR 研究会係

[電話:03-5540-3770, FAX:03-5540-3737]

第247・248回西山記念技術講座

「サステナブルな社会を支える
高機能厚板の技術進展と将来展望」

主催 (一社)日本鉄鋼協会

期日 第247回:2023年5月24日(水)(大阪/対面開催),

第248回:2023年6月6日(火)(東京/ハイブリッド開催)

会場 第247回:CIVI研修センター新大阪東7階E705会議室, 第248回:鉄鋼会館会議室

ホームページ <https://www.isij.or.jp/event/index.html>

連絡先 (一社)日本鉄鋼協会 育成グループ [電話:03-3669-5933, FAX:03-3669-5934, E-mail:educact@isij.or.jp]

23-2 ポリマーフロンティア 21

「地球環境にやさしい高分子・プラスチック材料の循環利用技術」

主催 (公社)高分子学会

期日 2023年6月14日(水)

会場 オンライン開催

ホームページ <https://member.spsj.or.jp/event/>

連絡先 〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル

(公社)高分子学会 23-2 ポリマーフロンティア 21 係

[電話:03-5540-3771, FAX:03-5540-3737]

日本化学会北海道支部 2023年夏季研究発表会 創立75周年記念大会

主催 日本化学会北海道支部

期日 2023年9月3日(日)

会場 北海道教育大学旭川校

ホームページ <https://touche-np.org/kakiken>

連絡先 北海道大学触媒科学研究所内 日本化学会北海道支部

2023年夏季研究発表会 創立75周年記念大会実行委員会

[電話:080-2862-6084, E-mail:kakiken@touche-np.org]

第 39 回シクロデキストリンシンポジウム

主催 シクロデキストリン学会
 期日 2023年9月20日(水)・21日(木)
 会場 名古屋国際会議場
 ホームページ <https://133.68.165.201/index.html>
 連絡先 〒466-8555 愛知県名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学大学院工学研究科 工学専攻 山村・宮川研究室
 第39回シクロデキストリンシンポジウム実行委員会
 [電話: 052-895-5022, E-mail: cyclodextrin39@lab-ml.web.nitech.ac.jp]

「分析化学」年間特集“流”の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」では2010年より「年間特集」を企画し2023年は「流」をテーマとすることと致しました。

本特集では「流」をキーワードとして分析化学における基礎・応用を含めて幅広い観点で見渡し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。本特集に関わる論文はすべての論文種目で年間を通じてご投稿いただくことが可能で、審査を通過した論文は単行の特集号を除く「分析化学」第72巻(2023年)合併号の冒頭に掲載する予定です。国内外、産学官を問わず、「流」に関わる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌の12号及びホームページをご参照ください。

特集論文の対象:「流」に関連した分析化学的な基礎・応用に関する論文。例を以下に示します。1) 液体や気体などの流れを利用した分析装置や分析手法の開発・応用、2) 連続的に流れている河川や大気などの分析に関する研究、3) 製造ラインなどの流れの中で利用する分析法の開発・応用、4) 電子の流れを計測する電気分析化学的研究、5) 原子・分子の流れを扱うシミュレーションを活用した分析化学的研究。

特集論文原稿締切: 2023年4月28日(金) (第3期)

初めて書く論文は母語の日本語で!
 “第22回若手研究者の初論文特集”
 募集のお知らせ

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会では、2023年(第72巻)に第22回「若手研究者の初論文特集」を企画します。卒研究生、修士・博士課程院生並びに若手研究者の方々にとって、ご自分の研究成果を日本語で投稿できるよい機会です。なお、2019年より本特集を年間特集とし、都合の良いときに執筆して投稿できるようにしました。年間を通して論文原稿を受け付け、審査を経て掲載可になり次第随時掲載いたしますので、奮ってご投稿ください。

なお、詳細は「分析化学」誌HPをご参照ください。

ぶんせき誌「技術紹介」の原稿募集

「ぶんせき」編集委員会

分析化学は種々の分野における基盤技術であり、科学や産業

の発達・発展だけでなく、安全で豊かな生活の実現に分析機器が大きく貢献してきました。近年の分析機器の高性能化・高度化は目覚ましく、知識や経験がなくても、微量物質の量や特性を測定できるようになりました。この急速な発展は、各企業が持つ高度で多彩な技術やノウハウによって達成されたといっても過言ではありません。一方、高度化された分析機器の性能・機能を十分に発揮させるためには、既存の手法に代わる新規な分析手法が必要であり、高度な分析機器に適合した分析手法や前処理手法の開発が分析者にとって新たな課題となっています。また、分析目的に合致した高純度試薬の開発に加えて、測定環境の整備、試薬や水の取り扱いなどにも十分な配慮が必要です。極微量の試料を分析する際には、測定原理を把握すると共に、手法や操作に関する知識・技能を身に付ける必要があると考えます。

このような背景に鑑み、『ぶんせき』誌では新たな記事として「技術紹介」を企画いたしました。分析機器の特徴や性能、機器開発に関わる技術、そしてその応用例などを紹介・周知することが分析機器の適正な活用、さらなる普及に繋がると考えており、これらに関する企業技術を論じた記事を掲載することといたしました。また、分析機器や分析手法の利用・応用における注意事項、前処理や操作上のコツなども盛り込んだ紹介記事を歓迎いたします。これらの記事を技術紹介集として、『ぶんせき』誌ホームページ内に蓄積することで、様々な分野における研究者や技術者に有用な情報を発信でき、分析化学の発展に貢献できるものと期待しております。分析機器や分析手法の開発・応用に従事されている多くの皆様方からのご投稿をお待ちしております。

記

1. 記事の題目:「技術紹介」
2. 対象: 以下のような分析機器、分析手法に関する紹介・解説記事
 - 1) 分析機器の特徴や性能および機器開発に関わる技術、
 - 2) 分析手法の特徴および手法開発に関わる技術、
 - 3) 分析機器および分析手法の応用例、
 - 4) 分析に必要な試薬や水および雰囲気などに関する情報・解説、
 - 5) 前処理や試料の取扱い等に関する情報・解説・注意事項、
 - 6) その他、分析機器の性能を十分に引き出すために有用な情報など
3. 新規性: 本記事の内容に関しては、新規性は一切問いません。新規の装置や技術である必要はなく、既存の装置や技術に関わるもので構いません。また、社会的要求が高いテーマや関連技術については、データや知見の追加などにより繰り返し紹介していただいても構いません。
4. お問い合わせ先: 日本分析化学会『ぶんせき』編集委員会 [E-mail: bunseki@jsac.or.jp]